

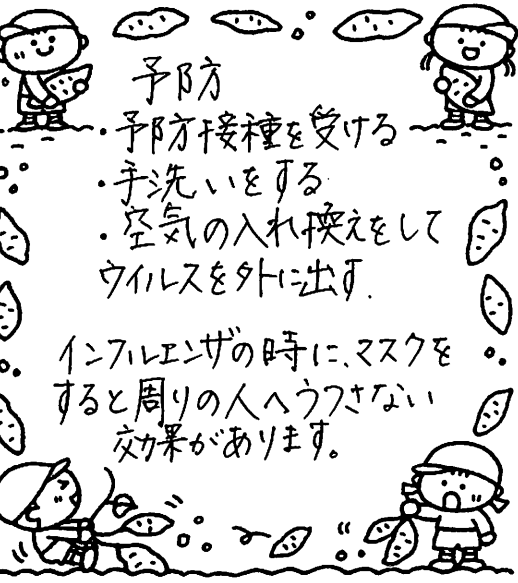
## インフルエンザワクチンについて

接種時期・・・インフルエンザの流行は、1月上旬から3月上旬が中心です。ワクチンが十分効果を発揮する期間は、2回目の接種が糸冬わってから、2週間後から約5ヶ月とされています。そのため10月から12月までには、予防接種をした方が良いと考えられています。また、毎年のワクチン接種が必要です。

ワクチンについて・・・インフルエンザワクチンはA型2種類・B型2種類の4種類のワクチンが含まれています。6才未満の小児のインフルエンザ発病防止は、約60%と報告されています。発病は防止できない場合でも重症化を予防することが知られています。

接種の実際・・・13才以上の方は、0.5mlを1回接種します。12才未満の方は、2～4週の間隔で2回接種します。生後6ヶ月より接種可能です。母乳中、授乳中も接種可能です。

卵アレルギー・・・以前は卵アレルギーの方は、インフルエンザワクチンの接種が出来ませんでした。これは、ワクチンの製造過程で鶏卵が使用されるからです。しかし、現在のインフルエンザワクチンは、ほとんど卵の成分が除去されているため、卵アレルギーでもほとんどの場合、接種可能です。



接種して良いかご心配な場合は専門機関を紹介します。



### 病児保育室の利用が Web で利用できるようになりました

○福岡市内にお住まいの方は、病児保育室の予約を web で手続きができるようになりました。

夜間の予約も可能となり、月曜日や休日の翌日の予約も可能になりました。

○福岡市外にお住まいの方、登録番号の ご不明な方は、今まで通りご利用当日の朝、8:15 以降に病児保育室までお問い合わせください

